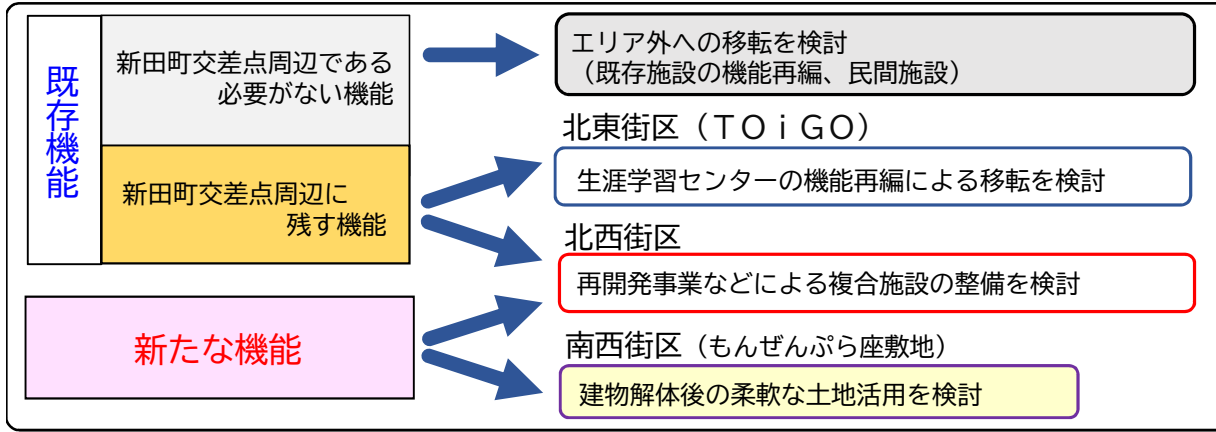


機能配置の方向性

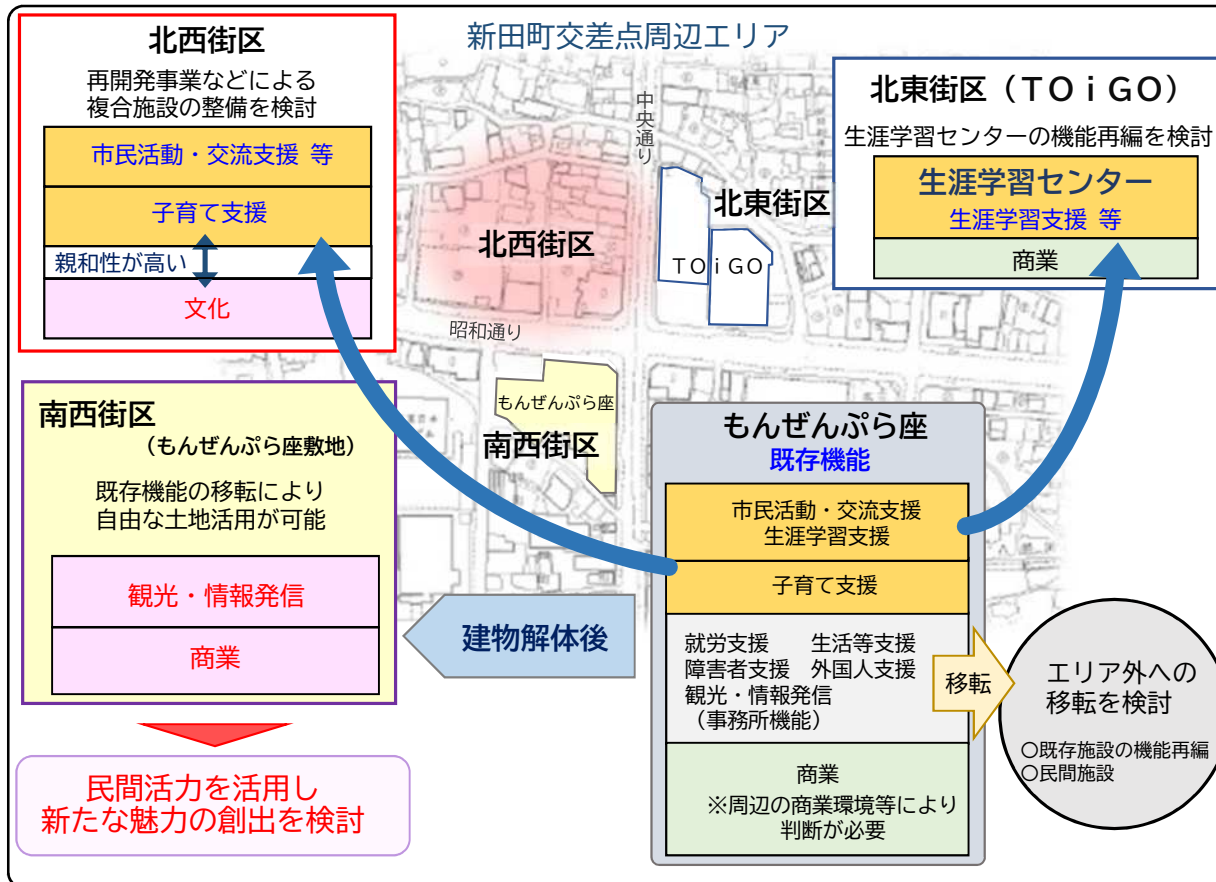


新田町交差点周辺における商業立地の可能性について

- 民間事業者へのヒアリング結果 (大手小売事業者・商業コンサルタント)
- 大規模商業施設の出店は困難 (安価な借地料・利用しやすい駐車場・広い敷地が必須である)
 - 公共交通機関が発達していても、駐車場とセットでの整備が必要
 - テナント料の高い施設への入居は困難
 - 土産や食をテーマにした商業サービスは可能性がある
 - 人が集まる機能がセットであれば可能性はある

- 商業立地のポイント
- ・低賃料などの出店のしやすさ
 - ・長野らしさをテーマとした飲食・物販
 - ・集客力のある施設との相乗効果

機能配置の素案 (イメージ図)



第3回検討部会の主な意見

北西街区

- ・建物の老朽化が著しいため、再開発事業を早く進める必要がある。
- ・全国に自慢ができる長野らしい図書館などの文化施設が必要である。
- ・子育て支援や交流支援など、機能停止することなく継続していくことが重要である。
- ・豊橋市のまちなか図書館のように、市民が愛着を持てる、居心地の良い空間になってほしい。

北東街区 (TOiGO)

- ・TOiGOは活用されていないため、全体をゼロベースで考え、市民に利用される施設にしてほしい。
- ・生涯学習センターを機能再編すれば、機能移転がしやすいと思う。
- ・生涯学習センターは、料金設定も含め見直しを行い、利用しやすくしてほしい。

南西街区(もんぜんぷら座跡地)

- ・観光・情報の発信場所として、市民や観光客が集まる、魅力的な場所をつかってほしい。
- ・市民にとって直売所や道の駅は日常的な買い物の場所になりにくいのではないかと。
- ・中心市街地に買い物ができる道の駅のような施設があれば便利である。金沢市の近江町市場は観光客だけでなく、地元の人も多く利用している。
- ・商業や観光・情報発信は、行政が行わず民間に任せたい。

南東街区

- ・南東街区で再開発事業を行うことができれば、もんぜんぷら座の敷地も生きてくると思う。